

新・景観形成に係る技術開発計画(案)への意見に対する県の考え方

意見数:1件(1人)

No.	本編該当箇所	御意見	左記に対する県の考え方
1	<p>・ P45～47_地域特性に応じた、沖縄らしい色彩(風土色)のガイドライン検討</p> <p>・ P49, 50_計画の進捗管理</p>	<p>景観行政の有識者に、運動公園をつくったことのある有識者・行動経済学の専門家・イベント事業者を参画させてほしい。</p> <p>■理由・・・ヘルスケア&スポーツの視点を盛り込み、運動したくなる景観づくりも考えてほしい。いちばん医療費がお金かかっているので、公共インフラづくりから、その視点で考えてほしい。デポアイランドのように、無電柱化が進んでいるところは、アベックも集まる(人口増に寄与)するし、ジョギングやウォーキングする人も多い。まちづくり・景観行政にヘルスケア視点を入れてほしい</p> <p>道路面:沖縄の道路・公園はすぐ草ぼーぼーなるので、なかなか維持管理するコストの捻出が本土の基準でしか草刈り予算が出ない。</p> <p>これを解決する手立てとして、運動したくなる道幅・日陰のある街路樹を設定し、そこで運動している人に維持管理させる仕組みをつくることで、行政側の負担軽減につなげる。</p> <p>つまりに「自分のコース」にしてもらう意識づくりとして、運動したくなる道幅・日陰を増やすべきである。</p> <p>ちなみに、日焼けしない夕方・夜の大会をすると女性の参加は日中の大会の2倍に増える(20%→40%)</p>	<p>貴重な御意見をいただきありがとうございます。</p> <p>景観行政への多様な関係者との関りは非常に重要と考えておりますので、御意見については参考とさせていただきます。</p> <p>沖縄県では、官民一体となって風景づくりに関する情報提供や意識啓発に取り組む組織として“美ら島沖縄”風景づくり協議会を令和5年3月に設立し、今年6月には、風景づくりに係るイベントやPR等の活動をしていきたいと考え活動計画部会を設置しました。</p> <p>同協議会は、良好な景観形成及びそれらに関わる関係機関・団体など様々な立場や分野の方々に参加し、連携しながら沖縄の風景づくりに取り組んでおります。</p> <p>県管理の道路については、令和3年度より性能規定方式による除草業務を導入し、雑草の草高を常に低い状態で管理するよう取り組んでおります。また、県管理道路の美化と地域との連携を目的に、ボランティア団体の支援を行っており、更なる官民連携の拡大に取り組んでいるところであります。引き続き関係部局と連携して、景観に配慮された道路環境づくりを推進していきたいと考えております。</p>